

令和元年度

自己評価報告書
(概要)

令和2年3月

横浜市病院協会看護専門学校

I 学校の現況

本校は、横浜市内の約82%の病院が加盟する、公益社団法人横浜市病院協会が、平成7年4月に横浜の医療ニーズに対応できる質の高い看護師を育てるために設立した3年課程の看護専門学校です。

高度医療に対応した知識・技術の獲得と豊かな人間性を育むことを大切にし、1,500人以上の優秀な人材を様々な医療現場に送り出しています。

教育課程の3分の1を占める臨地実習は、横浜市内の高度救命救急センター等高水準の医療・看護を実践している病院や、地域において中核的な役割を担っている病院、在宅医療を支える訪問看護ステーションなど充実した実習施設に恵まれています。

1学年80名 2クラスで、総数240名となっています。最近5か年の看護師国家試験合格率は94%を超え、卒業生の90%以上が横浜市内の病院に就職しています。

II 基本方針

(1) 教育理念

「国際都市よこはま」の地域ニーズに対応し、地域住民の保健・医療・福祉の向上に貢献することはもとより、国際社会の中であらゆる人々の健康と幸福のために援助できる豊かな人間性と行動力を備えた看護師を育成します。

(2) 教育目標

- 1 「生命の尊さ」が認識でき、医療における倫理観を身につけて行動できる能力を培う。
- 2 安全・安楽な看護実践のための、根拠となる基礎知識、技術、態度を培う。
- 3 社会の動向に関心をもち、自分の考えを表現する能力を培う。
- 4 多様な価値観を認め、相互の関わりの中で自己を知り、円滑なコミュニケーションを通じて人間関係を築く能力を培う。
- 5 医療チームの一員として看護職の役割と責任を自覚し、看護の専門性を發揮するとともに他職種と協働できる能力を培う。
- 6 看護専門職としての資質向上を図るために、継続して自己研鑽する態度を培う。

(3) 本校が求める学生像

- 1 人に対する関心や思いやりを有している人
- 2 他者との人間関係を築くための基礎的なコミュニケーション能力を有している人
- 3 看護を学ぶための基礎学力をもち、自ら積極的に学ぶ姿勢・能力を有している人
- 4 看護職として、横浜市の保健・医療・福祉に貢献したいという意志を有している人

III 自己評価について

- 1 実施時期 令和2年3～4月
- 2 実施対象 教職員 24名（教員19名 事務職員等 5名）
- 3 実施内容

「学校評価ハンドブック（専門学校等評価基準ver.4.0）」による
(特定非営利活動法人私立専門学校等評価研究機構)

<大項目>

- 1 教育理念・目標・育成人材像
- 2 学校運営
- 3 教育活動
- 4 学修成果
- 5 学生支援
- 6 教育環境
- 7 学生の募集と受入れ
- 8 財務
- 9 法令等の遵守
- 10 社会貢献・地域貢献

IV 自己評価結果(評価基準:不適切…1、やや不適切…2、ほぼ適切…3、適切…4)

【経過】

本校における「自己点検・自己評価」については、文部科学省によって専修学校設置基準等が改正され、自己点検・自己評価を行い、その結果を公表する努力義務が課せられました。そこで、平成16年より校内に「自己点検・自己評価委員会」を立ち上げ、17年に学生を、18年に教職員を対象にアンケートを実施し、教育目的・教育目標にそった教育活動がなされているか、点検・評価を試みました。

20年3月に「看護教育自己評価指針」を基に本校独自の調査項目を設定し、点検・評価を行いました。

23年3月に「看護師養成所の運営に関する指導要領の一部改正」により、自己評価が義務化されました。本校は、23・24年に評価委員会組織を再編し点検・評価に取り組み、その成果として第三次報告として「学校評価報告書 第1号」を25年5月に刊行しました。

その後、第四次報告から明らかにされた改善点を意識して取り組みを重ねて、「学校評価委員会」に改名し、点検・評価活動の成果として、第五次報告として「学校評価報告書 第2号」を29年7月に刊行しました。

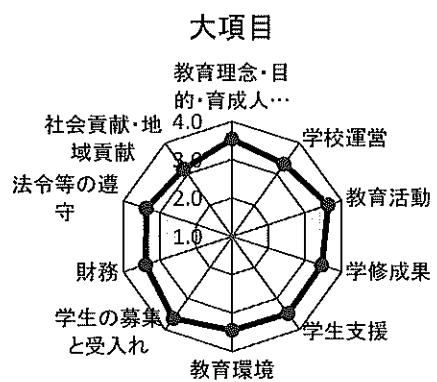
【総括と課題】

令和2年度より「高等教育の修学支援新制度」の対象校となることを機に、自己点検・自己評価の項目を改めて見直し、特定非営利活動法人私立専門学校等評価研究機構「学校評価ハンドブック 専門学校等評価基準Ver.4.0」により、小項目65のうち本校に該当する大項目10、中項目37、小項目62項目について点検・評価を実施しました。

総合評価は、「3.5」となり、ほぼ適切に運営できていると評価できます。特に、教育活動における目標の設定や教育方法・評価等、資格・免許取得の指導体制、学生支援における相談体制には高い評価を得ています。

一方、情報システム化への取組、卒業生への社会的評価の把握、学生寮などの生活環境支援体制の整備、学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献については、ほぼ適正との評価ではありますが、全体の中で低い評価となっています。

看護師の養成校として、目的・目標が明確であることから、学校運営や教育活動については明確であり



ますが、設立後25年を経過した中で、授業に関するITの更新や照明のLED化などは実施していましたが、老朽化が進んでいる設備面の改修工事や教職員のパソコン、インターネットを活用した取組を進めることができます。

【今後の改善方策】

老朽化に伴う、施設・設備の更新は順次進めていく必要があります。教育面においては、一定程度高い評価を得ているものの、2022年度のカリキュラム改正を見据え、地域共生社会の中での看護の役割、多職種連携教育を強化したカリキュラムを構築する必要があります。

1 教育理念・目標・育成人材像

【総括と課題】

設立当初から教育理念・教育目標を設定し、毎年度、事業計画を策定し周知を図っています。各小項目ともに、高い評価を得ているが、社会のニーズを踏まえた将来構想については、中期的将来構想の策定がされていないことが課題と考えられます。

【本校が実施している内容】

・教育ビジョン、教育理念、教育目標、育てたい卒業生像を「学生便覧」「学習要綱」等で明文化し、周知を図っています。

・専門分野に関連する業界等の人材ニーズへの適合については、市内の約8割にあたる108病院により組織している法人が運営する看護専門学校の強みを生かして、人材の養成を実施しています。

【今後の改善方策】

将来的には、中期的(3~5年)の将来構想を策定するなどにより、社会のニーズ等を踏まえた将来構想を示せるための検討が必要と考えます。

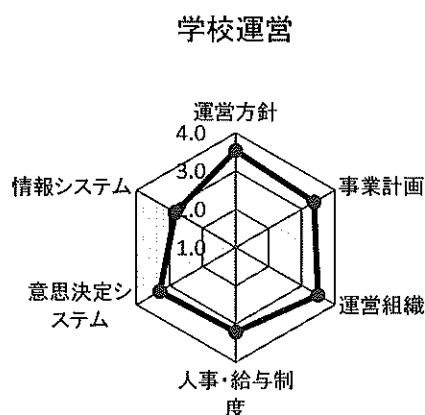
中項目	小項目(指標)			評価
理念・目的・育成人材像	1	理念・目的・人材育成像は定められているか		3.8
	2	育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか		3.6
	3	理念等の達成に向け特色ある教育活動に取組んでいるか		3.5
	4	社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか		3.3
平均				3.5

2 学校運営

【総括と課題】

理念に沿った方針を「学生便覧」「学習要綱」で明確にし、周知を図るとともに、学校運営に必要な各種規則、規程を制定しています。また、意思決定に必要な会議を定例で開催しています。

のことから、学校運営全般に関しては高い評価を得ていますが、IT等の情報システム等に関する評価が低く、その主な要因としては、教職員のパソコン等の機種の更新等により、安定した環境の確保が課題となっています。



【本校が実施している内容】

- ・教育ビジョン、教育理念、教育目標、育てたい卒業生像を「学生便覧」「学習要綱」等で明文化し、周知を図っています。
- ・毎月、運営会議、職員会議、連絡会議等を開催し、学校の運営等に関する事項を協議、決定しています。
- ・規則、規程については、整備されており、定期的に見直しを行っています。就業規則を令和2年4月改正しました。

【今後の改善方策】

情報システム化への取組については、2.8ポイントという低い結果となっています。現状としては、授業で使用するパソコンの更新は終了しているが、教職員が使用するパソコン及び周辺機器については、更新する必要があります。

情報提供方法としては、ホームページによる学校情報の提供や、学生への緊急連絡のためのメール配信システムの導入は実施しています。しかし、新型コロナウイルス感染防止対策で示されたオンライン授業等の活用を契機に、日々の学習のあり方として、双方向性のあるインターネット環境の整備等を早急に検討する必要があります。

中項目	小項目(指標)		評価
運営方針	5	理念等に沿った運営方針を定めているか	3.5
事業計画	6	理念等を達成するための事業計画を定めているか	3.4
運営組織	7	設置法人は組織運営を適切に行っているか	3.5
	8	学校運営のための組織を整備しているか	3.5
人事・給与制度	9	人事・給与に関する制度を整備しているか	3.2
意思決定システム	10	意思決定システムを整備しているか	3.3
情報システム	11	情報システム化に取組み、業務の効率化を図っているか	2.8
平均			3.3

3 教育活動

【総括と課題】

教育目標の到達を目指して、カリキュラムについては概ねシラバス通りの運営が行われています。また、教員は全員、看護師等としての臨床経験を有するとともに、資格取得及び研修修了者であり、教育活動全般に、高い評価を得ています。その中で、キャリア教育の実施については、3.1ポイントであり、検討する必要がある結果となっています。

【本校が実施している内容】

- ・看護専門職と看護教育考え方、教育課程の編成方針、実施方針をカリキュラムポリシーとして明文化しています。
- ・学科毎にねらい、教育目標をシラバスで明確にし、評価指標やループリック評価等を作成して教育達成レベルの明示に努めています。
- ・教育課程について外部からの意見については、卒業生アンケート調査の実施や同窓会時における意見聴取を行っています。
- ・キャリア教育については、進路ガイダンスを行い、キャリアアップの仕方を説明するほか、「ようこそ先輩」を開催することで学生にわかりやすく伝えています。
- ・講義・学習終了後の学生にアンケートを実施し、その結果を担当教員にフィードバックして授業の改善に活用している。
- ・国家試験出題基準の動向に対応する教育課程、授業計画を策定して臨んでいます。

【今後の改善方策】

2022年度のカリキュラム改正に向けて、校内検討会により見直しの検討を行っていますが、看護を取り巻く時代の変化に対応できる見直しになるよう検討を進めます。

本校は社会人経験者の学生が多い学校であり、学習に対する意志・意欲が高い学生が多い一方、高校新卒で過密な3年間のカリキュラムの中で苦しむ学生もいることから、支援のあり方も検討していく必要があります。

中項目	小項目(指標)	評価
目標の設定	12 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	3.8
	13 学科毎に修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	3.8
教育方法・評価等	14 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	3.9
	15 教育課程について外部の意見を反映しているか	3.3
	16 キャリア教育を実施しているか	3.1
	17 授業評価を実施しているか	3.8
成績評価・単位認定等	18 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	3.9
	19 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	3.2
資格・免許の取得の指導体制	20 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	3.9
	21 資格・免許取得の指導体制はあるか	3.8
教員・教員組織	22 資格・要件を備えた教員を確保しているか	3.4
	23 教員の資質向上への取組を行っているか	3.6
	24 教員の組織体制を整備しているか	3.6
平均		3.6

4 学修成果

【総括と課題】

本校の卒業生は、毎年94%以上の合格率で国家資格を取得し、就職しています。国家資格の取得に向けては、個別の対応も実施しており、高い評価を得ています。一方で、卒業生の社会的評価に関しては、「卒業生アンケート」を実施していますが、3.0ポイントと低い評価となっています。

【本校が実施している内容】

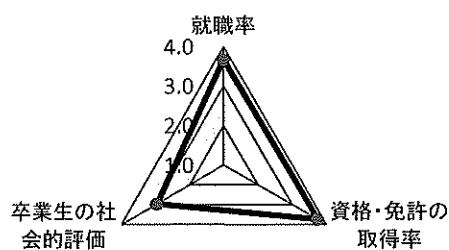
- 市内の108病院で組織されている法人が運営している看護専門学校として、卒業後の就職は約9割の学生が市内の病院に就職しています。
- 卒業後3年間の動向調査を実施しました。

【今後の改善方策】

国家資格取得については、引き続き個別支援等、必要な対応を行い、確実に合格するように取り組みます。

卒業時に、それぞれディプロマポリシーの達成度に関する評価を実施し、その結果を教育活動にフィードバックします。また、卒業生の実態把握する方法を再検討し、教育活動改善に向けて活用します。

学修成果



中項目	小項目(指標)		評価
就職率	25	就職率の向上が図られているか	3.7
資格・免許の取得率	26	資格・免許取得率の向上が図られているか	3.8
卒業生の社会的評価	27	卒業生の社会的評価を把握しているか	3.0
平 均			3.5

5 学生支援

【総括と課題】

就職等の進路、中途退学者の状況、学生相談、学校生活、保護者との連携、卒業生等への支援などの、学生支援に関しては、概ね適切にできていると評価されています。学生相談については、3.8ポイントと高い評価得ていますが、卒業生への支援体制が3.2ポイント、学生寮の設置などの生活環境支援体制の整備に関しては、3.1ポイントと高い評価にはなっていません。

【本校が実施している内容】

- ・学生生活や学習活動に悩む学生へは、個別の相談、指導を実施していますが、退学率は昨年度と同様の4.3%となっています。
- ・学生相談については、専門のカウンセラーを配置し、年間100件を超える相談に対応しています。
- ・学生生活に関しては、病院協会独自の奨学金制度を実施しているほか、高等教育の修学支援新制度を含め引き続き対象なるよう申請を行っています。
- また、ボランティア部、茶道部、バトミントン部、フットサル部が顧問の指導のもと活動しています。
- なお、学生寮に関しては、病院協会独自の奨学金を受けた場合、該当病院の寮が利用できることや、横浜市脳卒中・神経脊椎センター職員宿舎が利用可能となっています。
- ・保護者との連携については、学校後援会を組織し、学校と連携協力し、学生生活を支援しています。
- ・卒業生等が利用できるように、図書館の利用時間を拡大しています。

【今後の改善方策】

生活、修学上で困ったことなど自由に相談できるようにするとともに、退学、単位未修得者の減少に向けて初年次学生の指導を強化します。基礎力リサーチや面接等により学生が主体性を発揮しながら学習に取組めるように個別指導にあたります。

中項目	小項目(指標)		評価
就職等進路	28	就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	3.7
中途退学への対応	29	退学率の低減が図られているか	3.4
学生相談	30	学生相談に関する体制を整備しているか	3.8
学生生活	31	学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	3.5
	32	学生の健康管理を行う体制を整備しているか	3.8
	33	学生寮の設置などの生活環境支援体制を整備しているか	3.1
	34	課外活動に対する支援体制を整備しているか	3.5
保護者との連携	35	保護者との連携体制を構築しているか	3.5
卒業生・社会人	36	卒業生への支援体制を整備しているか	3.2
	37	社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	3.4
平 均			3.5

6 教育環境

【総括と課題】

設置から25年を経過している本校の施設・設備等は計画的保全による改修・改善が必要となって います。しかし、バリアフリーの基本設計とともに、休憩スペースの配置や約18,000冊を収納している 図書室とともに、日常清掃が行き届いている室内は、明るく清潔な状態となっています。
学外学習・インターンシップ等及び防災・安全対策については、ほぼ適切との評価になっています。

【本校が実施している内容】

- ・設置基準に適合して整備しました。基本的には、バリアフリー対応となっています。
- ・図書は毎年、希望調査を行い配架しています。
- ・情報科学室のパソコンは2017年度に更新しました。
- ・学外実習は教育計画に基づいて実施しています。
- ・学生の安全を確保するために、看護学生補償制度に加入しています。

【今後の改善方策】

適切な学習環境を継続的に提供できるために、施設・設備面の計画的保全を進めます。

中項目	小項目(指標)		評価
施設・設備等	38	教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	3.2
学外実習・インターンシノプ等	39	学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	3.5
防災・安全管理	40	防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	3.6
	41	学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	3.4
	平均		3.4

7 学生の募集と受入れ

【総括と課題】

学生の募集、入試選考、学納金等については、平成3.6ポイントとなっており、ほぼ適正と評価されました。

【本校が実施している内容】

- ・学生募集に向けた、高等学校及び社会人等への情報提供とともに、数回にわたる学校説明会や教職員のみではなく学生の協力も得てオープンキャンパスを実施しています。
- ・入学選考に関しては、構造化面接と面接時間の均一化を図ることで、公平性を保ち適性を判断しています。令和元年度に実施した試験から受験科目を、英語から数学に変更するなど見直しを実施しました。
- ・授業料、入学金等の学納金は、設立当初から安価となっています。

【今後の改善方策】

少子化に加え、看護系大学の新設等、受験生の確保に向けさらなる工夫を検討する必要があります。また、設立の経緯からも、学納金については、安価が維持できるように経営努力等を行っていく必要があります。

中項目	小項目(指標)		評価
学生募集活動	42	高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取組んでいるか	3.7
	43	学生募集活動を適切、かつ、効果的に行っているか	3.8
入学選考	44	入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	3.7
	45	入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか	3.5
学納金	46	経費内容に対応し、学納金を算定しているか	3.5
	47	入学辞退者に対し授業料等について適正な取扱いを行っているか	3.6
平均			3.6

8 財務

【総括と課題】

学校運営の財務に関しては、教員の中であまり情報共有が図られていない状況でしたが、法人としての財務状況の適正管理、監査の実施や公表の実施等について共有化を図った結果、平均3.4ポイントとなっており、ほぼ適正と評価されました。

評価の「教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか」の項目については、中期計画を策定していないことは、今後の課題となります。また、整備の減価償却により、正味財産増減計算書の当期経常増減額はマイナスとなっています。

【本校が実施している内容】

- ・人件費を中心に公的補助により、安定した運営ができます。
- ・毎年度、予算、決算を作成し公表しています。
- ・毎年度、法人、横浜市による監査を実施しています。

【今後の改善方策】

25年を超えた施設として、継続した施設運営を行うために、先ずは、設備面を中心に計画保全を実施する必要があります。

中項目	小項目(指標)		評価
財務基盤	48	学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	3.4
	49	学校及び法人運営にかかる主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	3.4
予算・収支計画	50	教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	3.2
	51	予算及び計画に基づき適正に執行管理を行っているか	3.5
監査	52	私立学校法及び寄附行為に基づき適切に監査を実施しているか	3.5
財務情報の公開	53	私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか	3.4
平均			3.4

9 法令等の遵守

【総括と課題】

専修学校設置基準を遵守とともに、横浜市病院協会会計事務処理規定により、適正な学校運営を実施していることから、平均3.4ポイントとなっており、ほぼ適正と評価されました。

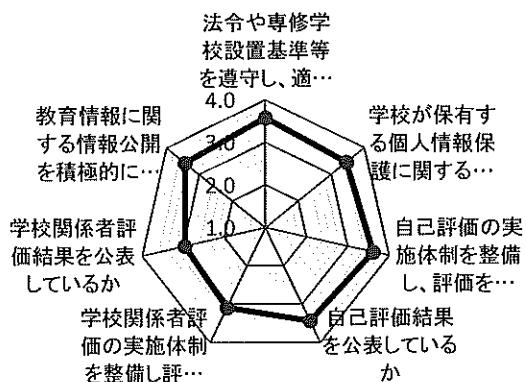
ただし、「学校評価」については、やや低めの評価となっています。学校評価は、今まで実施してきた経過はありますが、今回行っているような詳細にわたる自己評価結果を基に、外部の委員による検討を実施し、より適切な学校運営に反映させる必要があります。

【本校が実施している内容】

- ・適正な学校運営を行うために、学則及び19の規程を整備しています。
- ・個人情報については、就業規則第17・18条に規程していますが、学校運営に合わせた規程を策定する方向で検討を行っています。
- ・学校評価報告書を25・29年度に策定し、公表しています。

【今後の改善方策】

外部委員を招いての学校関係者評価委員会を実施し、学校運営等の更なる改善を図っていく必要があります。



中項目	小項目(指標)	評価
関係法令、設置基準等の遵守	54 法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	3.6
個人情報保護	55 学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	3.5
学校評価	56 自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	3.6
	57 自己評価結果を公表しているか	3.4
	58 学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか	3.1
	59 学校関係者評価結果を公表しているか	3.0
教育情報の公開	60 教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	3.4
平均		3.4

10 社会貢献・地域貢献

【総括と課題】

3年課程の看護専門学校として、学生の余暇時間には制限がある中で、地域への協力やかかわりを行っている状況で、平均3.4ポイントとなっており、ほぼ適正と評価されました。

2022年のカリキュラム改正の趣旨を踏まえ、地域との連携やかかわりについて進める必要がある中で、具体的な取組を今後検討する必要があります。

【本校が実施している内容】

- ・横浜マラソン、港南区福祉相談会、港南区災害医療合同訓練等に、ボランティアとして参加しています。
- ・学校創立25周年記念行事として学校を地域に開放したイベントを開催しました。

【今後の改善方策】

現在、横浜市内で策定が進められている、地域福祉保健活動計画などの情報を収集し、学校として地域福祉保健活動への取り組みを検討していきます。

中項目	小項目(指標)	評価
社会貢献・地域貢献	61 学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3.0
ボランティア活動	62 学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	3.3
平均		3.2

自己点検・自己評価評価集計

※ 評価規準: 不適切…1、やや不適切…2、ほぼ適切…3、適切4

大項目	中項目	小項目(指標)	小項目ave	中項目ave	大項目ave	
I 教育理念・目的・育成人材像	理念・目的・育成人材像	1 理念・目的・育成人材像は、定められているか	3.8	3.5	3.5	
		2 育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	3.6			
		3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取組んでいるか	3.5			
		4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	3.3			
II 学校運営	運営方針	5 理念等に沿った運営方針を定めているか	3.5	3.5	3.3	
	事業計画	6 理念等を達成するための事業計画を定めているか	3.4	3.4		
	運営組織	7 設置法人は組織運営を適切に行っているか	3.5	3.5		
		8 学校運営のための組織を整備しているか	3.5			
	人事・給与制度	9 人事・給与に関する制度を整備しているか	3.2	3.2		
	意思決定システム	10 意思決定システムを整備しているか	3.3	3.3		
III 教育活動	目標の設定	11 情報システム化に取組み、業務の効率化を図っているか	2.8	2.8	3.7	
		12 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	3.8	3.8		
		13 学科毎に修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	3.8			
	教育方法・評価等	14 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	3.9	3.5		
		15 教育課程について外部の意見を反映しているか	3.3			
		16 キャリア教育を実施しているか	3.1			
		17 授業評価を実施しているか	3.8			
	成績評価・単位認定等	18 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	3.9	3.5		
		19 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	3.2			
	資格・免許の取得体制	20 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	3.9	3.9		
IV 学修成果	教員・教員組織	21 資格・免許取得の指導体制はあるか	3.8		3.5	
		22 資格・要件を備えた教員を確保しているか	3.4	3.5		
		23 教員の資質向上への取組を行っているか	3.6			
		24 教員の組織体制を整備しているか	3.6			
V 学生支援	就職率	25 就職率の向上が図られているか	3.7	3.7	3.5	
	資格・免許の取得率	26 資格・免許取得率の向上が図られているか	3.8	3.8		
	卒業生の社会的評価	27 卒業生の社会的評価を把握しているか	3.0	3.0		
VI 教育環境	就職等進路	28 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	3.7	3.7	3.5	
	中途退学への対応	29 退学率の低減が図られているか	3.4	3.4		
	学生相談	30 学生相談に関する体制を整備しているか	3.8	3.8		
	学生生活	32 学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	3.5	3.5		
		33 学生の健康管理を行う体制を整備しているか	3.8			
		34 学生寮の設置などの生活環境支援体制を整備しているか	3.1			
		35 課外活動に対する支援体制を整備しているか	3.5			
	保護者との連携	36 保護者との連携体制を構築しているか	3.5	3.5		
	卒業生・社会人	37 卒業生への支援体制を整備しているか	3.2	3.3		
		39 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	3.4			
VII 学生の募集と受け入れ	施設・設備等	40 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	3.2	3.2	3.4	
	学外実習・インターンシップ等	41 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	3.5	3.5		
	防災・安全管理	42 防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	3.6	3.5		
		43 学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	3.4			
VIII 財務	学生募集活動	44 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取組んでいるか	3.7	3.8	3.6	
		45 学生募集活動を適切、かつ、効果的に行っているか	3.8			
	入学選考	46 入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	3.7	3.6		
		47 入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか	3.5			
	学納金	48 経費内容に対応し、学納金を算定しているか	3.5	3.6		
		49 入学辞退者に対し授業料等について適正な取扱いを行っているか	3.6			
IX 法令等の遵守	財務基盤	50 学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	3.4	3.4	3.4	
		51 学校及び法人運営にかかる主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	3.4			
	予算・収支計画	52 教育目標との整合性を図り、單年度予算、中期計画を策定しているか	3.2	3.3		
		53 予算及び計画に基づき適正に執行管理を行っているか	3.5			
	監査	54 私立学校法及び寄附行為に基づき適切に監査を実施しているか	3.5	3.5		
	財務情報の公開	55 私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか	3.4	3.4		
X 社会貢献・地域貢献	基盤法令、設置基準等の遵守	56 法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	3.6	3.6	3.4	
	個人情報保護	57 学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	3.5	3.5		
	学校評価	58 自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	3.6	3.3		
		59 自己評価結果を公表しているか	3.4			
		60 学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか	3.1			
	教育情報の公開	61 学校関係者評価結果を公表しているか	3.0			
		62 教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	3.4	3.4		
X 社会貢献・地域貢献	社会貢献・地域貢献	63 学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3.0	3.0	3.2	
	ボランティア活動	65 学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	3.3	3.3		

計

3.5

自己点検・自己評価評価項目について

大項目	中項目	小項目(指標)	チェック項目(抜粋)	本校が実施している内容
I 教育理念・目的・育成人材像	理念・目的・育成人材像	1 理念・目的・育成人材像は、定められているか	理念等の明文化、周知、社会の要請に合わせて見直し、実現のための目標・計画の策定、課程の設置／専門分野の特性が明確	<ul style="list-style-type: none"> ・教育ビジョン、教育理念、教育目標、育てたい卒業生像を「学生便覧」「学習要綱」等で明文化。 ・学校説明会、入学時、始業時等で周知を図る。
		2 育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	医療業界が求める人材(知識・技術・人間性等)の明確化／医療業界との協力関係がある(実習、採用等)	<ul style="list-style-type: none"> ・医療業界である、市内108病院が会員となる法人が設置・運営。 ・育てたい学生像を明確化し、科目を設定。 ・実習も含め、医療関係機関等の協力により実施。
		3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取組んでいるか	特色ある教育活動、実践教育の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・理念等の達成に向けた科目的設定。 ・プロジェクト学習・ラベルワークなどの教育方法の採用。
		4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	中期的(3～5年)将来構想の策定／教職員、学生、保護者等への周知	<ul style="list-style-type: none"> ・設立当初から教育理念・教育目標を設定。 ・毎年度、事業計画を策定し周知を図る。
II 学校運営	運営方針	5 理念等に沿った運営方針を定めているか	運営方針の策定／教職員等への周知	<ul style="list-style-type: none"> ・教育ビジョン、教育理念、教育目標、育てたい卒業生像を「学生便覧」「学習要綱」等で周知。
	事業計画	6 理念等を達成するための事業計画を定めているか	単年度、中期的事業計画の策定／進捗管理、見直し時期等明確化	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年度、事業計画を策定し周知を図る。
	運営組織	7 設置法人は組織運営を適切に行っているか	理事会、評議会の開催及び議事録の作成	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月理事会、常任委員会を開催し、議事録を作成。
		8 学校運営のための組織を整備しているか	事務・教学組織の整備／会議、委員会の設置・開催／規則、規程の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・規則規程により、毎月運営会議、職員会議、管理会議を開催し、議事録を作成。
	人事・給与制度	9 人事・給与に関する制度を整備しているか	採用に関する規程／採用時の広報／給与、昇任・昇級の規定／人事考課の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年1月に就業規則の改定。 ・令和元年度から業務評価を導入。 ・給与規則の改定に向け検討中。
	意思決定システム	10 意思決定システムを整備しているか	教務、財務等の業務処理において、意思決定システムの整備と権限の明確化	<ul style="list-style-type: none"> ・教務は、会議等により情報の共有と意思決定を実施。 ・財務は規則を備え、決裁による意思決定を実施。
	情報システム	11 情報システム化に取組み、業務の効率化を図っているか	学生への情報提供システム／タイムリーナ情報提供／システム管理の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・メール配信システム、ホームページにより情報提供。
III 教育活動	目標の設定	12 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	教育課程の編成方針、実施方針の明文化	<ul style="list-style-type: none"> ・看護専門職と看護教育の考え方を明文化 ・教育課程の編成方針、実施方針をカリキュラムポリシーとして明文化。
		13 学科毎に修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	学科毎の教育到達レベルの明示／資格取得への指導・支援体制	<ul style="list-style-type: none"> ・育てたい卒業生像、教育目標を設定。 ・年間目標、学年目標を提示し、中間、年度末に自己評価を実施。 ・国家資格取得のための指導を実施。
	教育方法・評価等	14 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	教育課程編成体制、編成過程の明確化／専門科目、一般科目の適正配分／授業時間・単位数の明確化／授業科目の目標にあつた授業内容、方法、教材の工夫／シラバスの作成、見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・規則、ガイドラインに沿って基礎・専門分野ごとに科目を配分。 ・科目シラバスに授業時間、単位、学習目標、授業内容、テキスト等を明記。 ・看護に必要な能力育成への学習、演習等の取組。
		15 教育課程について外部の意見を反映しているか	教育課程の編成、改定における、在校生・卒業生・就職先・関連業界からの意見聴取等	<ul style="list-style-type: none"> ・県看護師等養成機関連絡会や日本看護学校協議会での情報収集。 ・卒業生アンケート調査や同窓会時における意見聴取。
		16 キャリア教育を実施しているか	方針を定めているか／教育内容・教育方法・教材等の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・学生に進路ガイダンスを行い、キャリアアップの仕方を説明。 ・「ようこそ先輩」を開催。
		17 授業評価を実施しているか	学生へのアンケートの実施及び教育へのフィードバック	<ul style="list-style-type: none"> ・平成22年度から学生アンケートを実施し、結果をフィードバック。
		18 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	成績評価の基準の明確化／学生へ基準の明示／基準の客觀性の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・学則、規程に明記。 ・会議により単位認定、成績結果を協議。
	成績評価・単位認定等	19 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	学生の技術向上状況の把握	<ul style="list-style-type: none"> ・実習終了後、学内で報告会を実施。 ・専門分野、統合分野の科目で技術の習得状況を把握。

大項目	中項目	小項目(指標)	チェック項目(抜粋)	本校が実施している内容
III 教員・組織体制	資格・免許の取得の指導体制	20 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	国家資格取得への取組	・目標として、国家資格取得を明記。 ・国家試験対策講座を各学年で開設。
		21 資格・免許取得の指導体制はあるか	不合格者及び卒業後の指導	・国家資格取得に向けて、模試も含め支援を実施。 ・不合格者へ卒業後も支援を継続。
	教員・教員組織	22 資格・要件を備えた教員を確保しているか	教員の能力・資質・資格の明確化／教員のレベルの適合性／人材確保の関連業界との連携／教員の採用計画・配置計画／教員一人当たりの授業時間・学生数の把握	・全員資格取得及び研修修了者。 ・教員配置数は、県の指導により、配置基準を超えた人数を配置。 ・採用について就業規則に規定。
		23 教員の資質向上への取組を行っているか	教員の専門性、教授力の把握・評価／研修、研究への取組／自己啓発等のキャリア開発	・専任教員18名中、学士8名、准学士1名、修士課程修了1名を配置。 ・学校経費にて、学会・研修会への参加を支援。
		24 教員の組織体制を整備しているか	分野ごとの教員体制の確保／学科毎の教員間の連携・協力体制／改善の組織的な取組	・学校長以下の組織体制のもと、各専任教員がクラス及び業務を分担。 ・組織体制における業務分掌を規定。
		25 就職率	就職率の目標設定／就職率等のデータ管理	・毎年9割以上の就職率を達成。 ・就職実績は公表。
	資格・免許の取得率	26 資格・免許取得率の向上が図られているか	国家資格取得の目標設定／合格実績・全国水準との比較	・国家資格取得率は100%を目標。 ・毎年94%以上の合格率で全国平均を上回る。
	卒業生の社会的評価	27 卒業生の社会的評価を把握しているか	卒業後の実態把握	・卒業後3年間の動向調査を実施。 ・「卒業生アンケート」の実施。
IV 学修成果	就職等進路	28 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	組織的就職支援体制の整備／就職状況の学内共有／関連業界との連携／就職説明会や相談の実施	・進路ガイダンスの実施。 ・個別の相談、助言、指導を実施。 ・「卒業時実態調査」において、教職員の就職活動支援は好評。
	中途退学への対応	29 退学率の低減が図られているか	退学者数の把握／指導過程記録の保管／指導・相談の実施	・退学率は、昨年とほぼ同様4.3%。 ・個別の相談、指導の実施。
	学生相談	30 学生相談に関する体制を整備しているか	専任カウンセラーの配置／相談室の設置／学生への周知／相談記録の保管	・学校カウンセラーを配置し、相談を実施。 ・専用の相談室を設置。
	学生生活	32 学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	学校独自の奨学金／学費の減免・分割納付制度／支援制度の学生、保護者への周知	・本校独自の奨学金制度あり。(横浜市病院協会奨学金・修学生活資金制度) ・高等教育の修学支援新制度認定校。(継続申請) ・他奨学制度についても対応。 ・専門実践教育訓練校として指定。(～R4.9.30)
		33 学生の健康管理を行う体制を整備しているか	学校保健計画の策定／学校医の専任／健診の実施／心身健康相談の専任職員の配置	・年間計画に基づく、定期健康診断、感染症対策の実施。
		34 学生寮の設置などの生活環境支援体制を整備しているか	学生寮の確保／ニーズの把握	・横浜市病院協会奨学金への当該病院寮の利用。 ・横浜市立脳卒中・神經脊椎センター職員宿舎が利用可能。
		35 課外活動に対する支援体制を整備しているか	クラブ活動等の団体の活動状況の把握	・ボランティア部、茶道部、バトミントン部、フットサル部が顧問の指導のもと活動。
	(V 学生支援)	36 保護者との連携	保護者会の開催及び情報提供／緊急時の連絡体制の確保	・学校後援会を組織し、保護者との連携、協力を実施。 ・保護者会開催及び個別相談の実施。 ・緊急時連絡は、学生カード、一覧表で管理。
卒業生・社会人		37 卒業生への支援体制を整備しているか	同窓会の組織化／再就職、卒後のキャリアアップの相談・支援	・同窓会活動を実施。 ・毎年特別講演を同窓会と協賛で開催。
		39 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	社会人経験者への入学時、在学中の配慮	・社会人に向けた特別入試を実施。 ・図書室、実習室等の利用時間を拡大して対応。 ・専門実践教育訓練校として指定。

大項目	中項目	小項目(指標)	チェック項目(抜粋)	本校が実施している内容
VI教育環境	施設・設備等	40 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	施設、設備、機器等の適法性と充実度／図書室、実習室の整備／休憩室等の確保／バリアフリー対応	・設置基準に適合して整備。 ・図書室、休憩室(学生ホール)を設置。 ・図書は、毎年希望調査を行い配架。 ・情報科学室のPCは、2017年度更新。 ・基本的にバリアフリー対応で整備。
	学外実習・インターンシップ等	41 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	学外実習の位置づけの明確化／実習指導機関の指導者との連携	・学外実習は教育計画に基づいて実施。 ・実習機関と連絡・協議の機会を確保。 ・インターンシップに対応。
	防災・安全管理	42 防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	防災の組織化及び訓練の実施／消防設備及び保守点検の適法性	・設備及び訓練の実施等により適法。 ・防災の組織化、マニュアルの整備、防災用備品、備蓄の確保、保管。
		43 学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	学校安全計画の策定／学習時の安全対策マニュアル等の作成及び運用	・看護学生補償制度「WIII」に加入。
VII学生の募集と受入れ	学生募集活動	44 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取組んでいるか	高等学校等への情報提供及び入学説明会の実施／学校案内の作成及び周知	・「学校案内」「学生募集要項」を作成し、学校説明会及び学校訪問を実施。
		45 学生募集活動を適切、かつ、効果的に行っていているか	募集活動の実施／志望者等からの相談対応／オープンキャンパスの実施／入試の適正な時期での実施	・土曜日に学校説明会の開催。 ・学校訪問の実施。 ・オープンキャンパスの実施。
	入学選考	46 入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	入学選考基準の規定等での明確化／入学選考の公正性を確保する体制の整備	・構造化面接と面接時間の均一化を図っている。 ・選考は、幹部職員による委員会で実施。
		47 入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか	応募者、受験者、合格者、辞退者等のデータの蓄積／入学者予測数値の算出	・合格率、辞退率等を分析し、試験の実施方法に反映。 ・毎年、入学者予想を算出。
	学納金	48 経費内容に対応し、学納金を算定しているか	学納金の算定内容と決定過程の明確化／水準の把握	・学納金は、公表し、設立終過から安価。 ・予算、決算について公表。
		49 入学辞退者に対し授業料等について適正な取扱いを行っているか	入学辞退者への授業料の返還及び募集要項等への明示	・入学者について、返納しない旨を募集要項に記載。
VIII財務	財務基盤	50 学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	収支バランス／マイナスの場合の原因把握と解消の計画の策定	・公的補助による運営。 ・入学者数は定員数を確保。
		51 学校及び法人運営にかかる主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	過去3年間の財務分析の実施／教育研究比率、人件費率の分析／適切なコスト管理	・過去の財務状況を踏まえ、予算、決算を作成し、公表。 ・令和元年度、借入金の完済。
	予算・収支計画	52 教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	予算編成と事業計画等との整合性	・毎年度、事業計画とともに予算を編成。
		53 予算及び計画に基づき適正に執行管理を行っているか	予算執行計画の策定／予算と決算の整合性／予算規程、経理規程の整備	・毎年度、法人、横浜市による監査の実施。 ・会計規則により適正に運用。
	監査	54 私立学校法及び寄附行為に基づき適切に監査を実施しているか	監査の実施及び理事会への報告／監査法人による外部監査の実施	・毎年度、法人、横浜市による監査の実施。 ・法人会計指導を会計法人に委託。
	財務情報の公開	55 私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか	財務公開規程の整備／財務帳票、事業報告書の作成、公開	・ホームページにて財務諸表を公開。
IX法令等の遵守	関係法令、設置基準等の遵守	56 法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	適法な設置及び学校運営／規則、規程の整備／セクシャルハラスメント防止対策の実施／コンプライアンスの相談体制の整備	・学校運営のため学則及び19の規程を整備。 ・令和2年1月改正の就業規則第21条にハラスメントを、第12章に内部通報者の保護等を規定。
	個人情報保護	57 学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	個人情報保護の規定の作成及び運用／個人情報漏えい防止策の実施	・令和2年1月改正の就業規則第17・18条に規定。 ・個人情報に関する規程を策定に向け検討中。

大項目	中項目	小項目(指標)	チェック項目(抜粋)	本校が実施している内容
X社会貢献・地域貢献	学校評価	58 自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	関連する規程等の整備／自己評価の定期的全学での取組／結果を踏まえた学校改善への取組	・学校評価委員会に関する規程・実施要綱を平成28年度に制定。 ・平成16～18年に、委員会発足、アンケート実施、報告書2回発行。 ・平成23年度から、学校評価委員会を7～8回開催し、自己点検・自己評価等を実施。 ・学校評価報告書(平成25・29年)を作成し、関連施設等へ提供。
		59 自己評価結果を公表しているか	報告書の作成／ホームページ等での公表	
		60 学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか	学校関係者評価の規定等の整備／組織化／委員の適切選任	
		61 学校関係者評価結果を公表しているか	評価結果の取りまとめ／ホームページ等での公表	
	教育情報の公開	62 教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	学校の概要、教育内容、教職員等の教育情報公開	・「学校案内」「学生募集要項」「年報」を作成し公開。学校説明会及び学校訪問等で活用。 ・ホームページを改正に向け検討中。
		63 学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	産・学・行政・地域等との連携／学校資源の提供／地域への講座等の実施	・区役所、福祉施設等の事業に学生がボランティアとして参加。 ・令和元年度、施設を地域開放して、25周年記念事業を開催。 ・市民参加可能な、20周年記念特別講演会を開催。
		64 地域との連携についての取り組みがあるか	国際交流に関する方針の策定／海外校舎開設との交流／留学生の受け入れ	
	ボランティア活動	65 学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	ボランティア活動等の社会活動の推進／ボランティア活動等の把握、学内での共有	・区役所、福祉施設等の事業に学生がボランティアとして参加。 ・部活動として、ボランティア部が活動。